危険感受性を高めよう
KYT（交通危険予知トレーニング）

車を安全に運転するには、交通場面で出会うさまざまな危険を的確に予知(予測)することが大切です。

イラストの中にはどのような危険が潜んでいるか、それに対してどのような行動とれば安全かを考えましょう。　＊このページのコピーを配布して皆で意見を出し合いましょう。

雪の降り積もった下り坂の道路を走っています。

①どのような危険が予測されますか？
②どのような運転をすれば安全ですか？

解説は52ページ

「学科テストにチャレンジ」の解答・解説

1．○　問のとおり、一時停止して安全を確認した後、徐行して進みます。
2．○　問のように緊急自動車の進行を妨げないようにします。
3．×　原動機付自転車は30km/hを超えて運転してはいけません。
4．×　後輪が滑る方向に軽くハンドルを切り、車の向きを立て直します。
5．×　荷台の幅から右に0.15m、左に0.15mまでです。
6．×　この先の道路が工事中であることを表していますが、通行はできます。
7．○　問のとおりです。
8．○　カーブを走行するときは、問のようにします。
9．○　歩行者や対向車に注意しながら問のようにします。
10．×　補助標識で車種が指定されていないので、自動車は全て通行できます。
11．○　最初に少し開ける動作は他の交通への合図となるので、問のようにします。
12．×　前輪ブレーキの方がよく効きます(前後輪同時にかけます)。
13．×　遮断機が上がっていても、一時停止し安全を確かめなければなりません。
14．○　問のとおりです。
15．
（1）×　対向車と衝突するおそれがあります。工事現場の手前で一時停止して対向車に進路を譲ります。
（2）○　問のとおりです。
（3）○　問のとおりです。